「ピックルボールで、世界とつながる。スポーツで、まちの未来を拓く。」 ～生涯スポーツ「ピックルボール」を核とした茨城県境町のまちづくり～

スポまち！表彰2026
⑨茨城県境町

＜目標＞

計画期間：～令和13年３月31日



“ピックルボール”を軸に地域の未来を元気に！

① 【スポーツ合宿受入延べ団体数】 40団体（令和7年度）➡ **230団体**（累積・令和8年度～令和12年度）
② 【社会増減数】 138人増（令和7年度） ➡ **約1,000人増**（累積・令和8年度～令和12年度）
③ 【SAKAI Tennis court 2020 延べ利用者数】 **約20,000人**（累計・令和8年度～令和12年度）



＜ＰＲポイント＞

①「誰もが楽しめる生涯スポーツ」として、ピックルボールを地域に定着
年齢や経験を問わず楽しめる特性を活かし、**生涯スポーツ**・**健康づくり**・**地域コミュニティの形成**を推進するとともに、ジュニア選手の育成につなげる。

②「スポーツ×交流×国際」を通じて、まちの新たな人の流れを創出
大会・合宿の誘致や**スポーツツーリズムを推進**するとともに、姉妹都市・米国ホノルル市との交流を深め、**国内外から人が集うスポーツ拠点**を目指す。




▲ピックルボールを楽しめるSAKAI Tennis court 2020

〈現状・課題〉

①人口減少・少子高齢化に伴う地域活力の低下に加え、運動不足による健康課題への対応が必要
誰もが**継続的にスポーツに親しみ**、健康づくりや地域での交流につながる機会を創出することが課題となっている。

②東京2020大会を契機に整備したスポーツ施設等の、大会後の有効活用と持続的な利用促進が課題
大会開催時だけでなく、日常的な利用や交流人口の創出につながる**新たなスポーツコンテンツの導入**が求められている。

③国際交流や既存の地域資源を活かした、新たな交流人口・関係人口の創出が必要
姉妹都市である米国ホノルル市との交流実績をはじめとする当町の強みを、スポーツを通じた地域活性化につなげる必要がある。

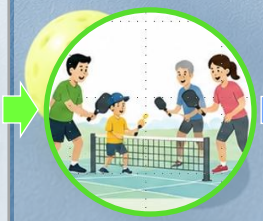
〈総合的な取組内容〉

拠点
【SAKAI Tennis court 2020】
既存スポーツ施設を有効活用し
屋内外計8面の
ピックルボールコートを整備



コート整備　備品整備　誰でも利用可

①健康・生涯スポーツ
みんなが楽しめる！



健康づくり
コミュニティー形成

②育成・強化
未来のアスリートを育てる！



体験・スクール
ジュニア育成

③スポーツツーリズム
人が集い、つながる！



合宿・大会誘致
交流人口の拡大

④国際交流
世界とつながる！



国内外から人が集う
スポーツ拠点
姉妹都市交流推進

⑤地域活性化
地域の未来を元気に！



地域経済の活性化
持続可能なまちへ

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞

町（自治体）
（スポーツ・健康推進・観光・公共交通等の関係部門含む）
- 全体取りまとめ
- 一線級の“地域おこし協力隊”の活用
- ピックルボールを通じた国際交流の推進
- 健康増進等に向けた継続的なスポーツ体験の機会の提供　等



官民連携の地域公社
（（株）さかいまちづくり公社）
- スポーツツーリズム等の観光コンテンツ開発
- 多様な関係者との連携調整 等

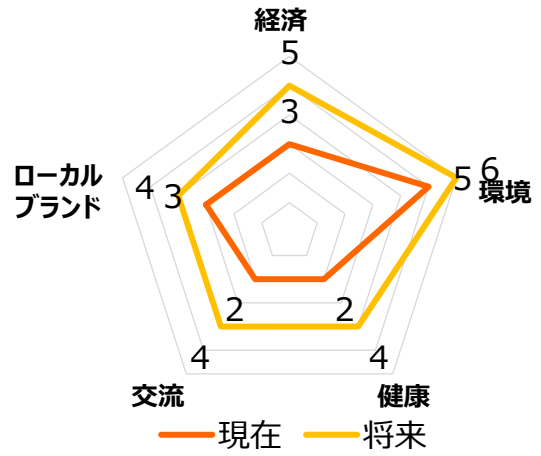
【多様な関係者例】
商工会、観光協会、青年会議所、旅館料理組合、飲食業組合、境町いきいきクラブ連合会、観光バス事業者　等

指定管理事業者
（ピックルボールコート）
- 施設の管理・運営
- 合宿等受入れ整備（主にソフト面）
- 無料体験教室開催 等

外部アドバイザーと連携

境町戦略会議委員、参与 等
（国・大学・民間企業等のメンバーで構成）
- 町が実施する事業について様々な角度から指導・助言等を行う

＜セルフチェックシート＞



【フォローアップ欄】令和8年度以降における計画の進捗状況

問合せ先・電話番号

茨城県境町 政策統括部 地方創生課
0280-81-1309